

JA 0008265

JAN 1978

(54) PERSONAL ORNAMENTS

(11) Kokai No. 53-8265 (43) 1.25.1978 (19) JP

(21) Appl. No. 51-81756 (22) 7.9.1976

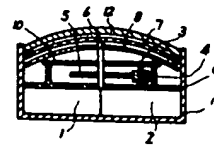
(71) DAINI SEIKOSHA K.K. (72) RIYOUZOU HASEGAWA

(52) JPC: 131B0

(51) Int. Cl². A44C25/00

PURPOSE: To provide front side of a decorative section with a lenticular lens and to drive it with a motor so that colors and patterns of a personal ornament become variable whereby it becomes provided with a new aesthetic effect.

CONSTITUTION: This personal ornament is to be composed of a battery 1, a motor 2, a motor shaft 3, pinions 4 and 5, a rotary shaft 6, a lenticular lens 7, a decorative board 8, a base plate 9, a receptacle 10, a casing 11 and a glass 12. The battery 1 supplies power to start the motor 2 which rotates the motor shaft 3. The rotation is reduced by the pinions 4 and 5, conveyed to the rotary shaft 6 and then slowly rotates the lenticular lens 7. And therefore, colors and patterns of the decorative board 8 are to become seen to be varied all the times through the lenticular lens 7 allowing its effect as an accessory to be largely increased.

**BEST AVAILABLE COPY**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑩特許出願公開
昭53—8265

⑪Int. Cl.
A 44 C 25/00

識別記号

⑫日本分類
131 B 0

庁内整理番号
6960—21

⑬公開 昭和53年(1978)1月25日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭装身具

⑮特 願 昭51—81756
⑯出 願 昭51(1976)7月9日
⑰発 明 者 長谷川量造
東京都江東区亀戸6丁目31番1

号 株式会社第二精工舎内
⑱出 願 人 株式会社第二精工舎
東京都江東区亀戸6丁目31番1
号
⑲代 理 人 弁理士 最上務

明 細 書

発明の名称 装身具

特許請求の範囲

電池とモータを内蔵し、上記モータによつてレンテヤユラー、レンズを動かすようにしたことを特徴とする装身具。

発明の詳細な説明

本発明は、装飾部分を可動とした装身具に関するものである。

従来の装飾部分を可動とした装身具は、動きが比較的単純となるうにのみあつた。本発明は、装飾面の前面にレンテヤユラー、レンズを配置し、これをモータで回転することによつて色、模様、形状を与え、従来のなかつた新しい装飾効果をもつた装身具を提供することを目的とする。

本発明の実施例について、図面を参照して説明すると、図は、本発明の実施例の断面図で、1は電池、2はモータ、3はモータの軸、4、5は歯

車、6は回転軸、7はレンテヤユラー、レンズ、8は装飾板、9は地板、10は受、11はケース、12はガラスである。

1の電池から電力が供給されると、2のモータが作動し、3のモータ軸が回転する。この回転は4、5の歯車で減速され、6の回転軸に伝えられ、回転軸に固定された7のレンテヤユラー、レンズがゆるやかに回転する。

したがつて、8の装飾板の色、模様が、7のレンズを通して時々刻々変化して見え、アタセサリとしてその効用を著しく増すことができる。

本発明は、ペンダント、ブローチ、指輪、イヤリング、髪留め、ネクタイピン、カフスボタン等の装身具に適用することができる。これによつて、今までになかつた全く新しい魅力をもつたアタセサリが得られ、その効用の効用は極めて大きい。

図面の簡単な説明

図は本発明の実施例の断面図。

代 理 人 最 上 務

265.2)

